

ライオネル・マッケンジー博士は、2010年10月12日91歳の天寿を全うされ、ご逝去されました。

マッケンジー博士は、アメリカのデューク大学を卒業後、プリンストン大学大学院で学ばれ、経済学の修士と博士を取得し、MIT、デューク大学を経て、1957年に、ロチェスター大学に教授として就任されて以来、ロチェスター大学を退職するまでの実に32年の長きに渡って、研究者の育成に努められました。

博士は、数理経済学のなかでも一般均衡理論、国際貿易モデル、経済成長モデルの理論的研究について多大な業績を上げられ、内外の数理経済学者への育成に貢献されました。

本経済研究所とはかねてより教育・研究の多面にわたり交流がありましたが、2003年10月以来、その膨大な蔵書を寄贈いただき、教員や学生の研究に永続的な指針となる基盤形成に貢献されました。本研究所では、所内にマッケンジー・ライブラリーを開設し、本学の教員や学生の研究水準の向上に役立てています。

また、京都大学は、本学に於ける学術研究に寄与した功績が顕著であり、学術研究はもとより、教育や学術文化へ寄与されたとして、2004年2月 京都大学名誉博士第1号の称号を授与しています。

ライオネル・マッケンジー博士の生前のご功績を偲び、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。